

## 2017年1月16日から2017年1月20日の間に当院でCT検査を受けた方へ

### 研究実施のお知らせ

研究の題名：全国国立大学附属病院におけるCT撮影線量調査

研究期間：研究機関の長の許可日～2018年3月31日

研究責任者：山梨大学 医学部 放射線医学講座 准教授 本杉 宇太郎

当科では、2017年1月16日から2017年1月20日の期間にCT検査を受けた患者さんを対象に、全国国立大学附属病院におけるCT撮影線量を調査する研究を行います。この研究は、山梨大学医学部倫理委員会の審議に基づき、医学域長の許可を得て実施するものです。

#### 【研究の目的と意義について】

CT検査は患者さんへ治療や診断を提供できるという利益がありますが、その一方で、X線被ばくが必ず発生するという不利益があります。CT検査では少ない被ばくで医療に必要な画像を提供するよう放射線量を調整することが大切であり、これを「最適化」と言います。CT装置には volume CT dose index (CTDIvol) と dose-length product (DLP) という「放射線量の数値（線量指標）」が表示されます。最適化をより推し進めていくためには現状の線量指標のデータを詳しく解析することが必要です。本研究の目的は国立大学附属病院でCT検査を受けた患者さんの線量データの調査を行うことで実態を把握し、その結果を各病院にフィードバックすることです。

この調査研究によって線量の最適化や将来に向けた放射線安全管理への取り組みを加速させることが期待できます。またこれを足がかりに継続的な調査研究を展開することができれば、国民の医療被ばく線量の最適化に大きく寄与できる可能性があります。

#### 【研究の方法について】

CT検査を受けた患者さんの年齢、性別、体重、撮影部位、撮影条件を調べます。調べたデータを群馬大学医学部附属病院放射線に集約し、これを解析した結果を全国国立大学附属病院にフィードバックします。

#### 【個人情報の保護について】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

#### 【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は以下の連絡先までお申し出ください。

#### 【問い合わせ等の連絡先】

山梨大学 医学部 放射線医学講座

准教授 本杉 宇太郎

電話 055-273-1111 (内線 : 2382)

(対応可能時間 平日 9 : 00 ~ 17 : 00)